



ほこた市

議会だより

平成23年10月31日発行

No.25



平成23年9月定例会

- 平成22年度決算 P2
- 提出議案と審議結果 P2~P3
- 平成23年度第3回定例会 主な質疑 P3
- 平成23年第3回銚田市議会定例会 討論一覧 P4
- ここが聞きたい!** 一般質問 P5~P12
- 特別委員会設置/議会報告会を開催します! P12
- 委員会活動報告/主な議会の動静 P13
- 傍聴者の声** / 12月定例会の予定 P14

**勝利に向かって
パワー全開!**



~銚田北幼稚園 運動会~

平成23年第3回定例会

〈本会議〉
9月9日～22日

市民税について

問 市税の不納欠損について、どのような対応をしているのか。

答 滞納者に対して、督促状や催促状の発送あるいは納税相談等により自主納付を促していますが、なかなか納めていただけない方は、預貯金の調査や不動産の公売等により換価をして滞納税に充てています。

しかしながら、生活困窮によりこれ以上自主納付も望めなく、市税の徴収に至らなかったものについては、不納欠損として処理をしています。この不納欠損処分は、滞納整理を進める上では、制度上いたし方ないものと考えていますが、欠損を少しでも減らすべく努力をしています。

水道事業について

問 水道普及率向上のために努力しているか。

答 市では普及率向上のために、水道加入金の一部軽減や配水管布

設工事費の公費負担を実施しています。そのほかにも、水道未加入世帯を対象とした井戸水の水質検査の実施、水道未使用世帯を対象とした意向調査を実施、さらには、県企業局からペットボトル「鹿行の水」の提供を受けてイベント等において安全な水道水のPR活動を実施しています。

これらにより、平成21年度と比較して、普及率で7.3%、給水人口で3,366人増加しています。

財政力指数について

問 財政力指数が低下した理由は、

答 財政力指数とは普通交付税算定上の基準財政収入額を基準財政需要額で除した指数で、その指数が低いほど普通交付税に依存した財政運営になっていることとなります。

財政力指数が大きく低下した理由としては、景気低迷等に伴い基準財政収入額が減少したことと合わせ、普通交付税算定上の基準財政需要額の臨時的な算定項目の創設及び個別算定項目の単位費用等の増に伴い、基準財政需要額が増加したことが大きな要因です。

平成22年度決算質疑

主な質疑

議案第13号

平成23年度
銚田市一般会計
補正予算(第4号)

問 まちづくり福祉事業の自治総合センターコミュニティ補助金について、対象地区と事業内容はどのようなものか。

答 財団法人自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として、要綱の定めるところにより集会施設やコミュニティ活動用品の整備、安全な地域まちづくりと共生のまちづくり、活力ある商店街づくりや地域の国際化の推進及び地域文化への支援等に対しての助成を行うものです。新町と縦山の2地区が該当して、金額は各250万円ずつ500万円になります。

問 教育施設関係の震災後の復旧状況はどのくらいか。

答 学校施設、小中学校、幼稚園については、今現在工事をしており、学校体育館の工事関係が多々あります。耐震関係の工事も入っており、学校関係については11月をめぐりに終了予定です。また、旭北小、銚田小、銚田南中の一部のり面については、今現在設計をしているところで若干時間がかかると認識しておりあります。それから、生涯学習の社会教育施設、公民館、総合公園の体育館、旭スポーツセンターの体育館などについては時間が必要であり、年度内の完了を



提出議案と審議結果

● 全員賛成
● 賛成多数
● 賛成少数
△ 継続審査

平成23年第3回銚田市議会定例会

平成22年度決算認定

- 銚田市一般会計歳入歳出決算認定
- 銚田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定
- 銚田市老人保健特別会計歳入歳出決算認定
- 銚田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定
- 銚田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定
- 銚田市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定
- 銚田市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定
- 銚田市旭区域水道事業会計収入支出決算認定
- 銚田市銚田区域水道事業会計収入支出決算認定
- 銚田市大洋区域水道事業会計収入支出決算認定

条例・規則の一部改正等

- 銚田市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について
- 銚田市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
- 銚田市東日本大震災による被災住宅等の修繕工事費助成金支給条例の制定について

平成23年度補正予算

- 銚田市一般会計補正予算(第4号)
- 銚田市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- 銚田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
- 銚田市介護保険特別会計補正予算(第2号)
- 銚田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
- 銚田市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)
- 銚田市旭区域水道事業会計補正予算(第3号)
- 銚田市銚田区域水道事業会計補正予算(第3号)

人事

- 銚田市政治倫理審査会委員の選任について
(汲上 飯島 仁)
- 銚田市政治倫理審査会委員の選任について
(札 額賀 元康)
- 銚田市政治倫理審査会委員の選任について
(田崎 柳橋 政義)
- 銚田市政治倫理審査会委員の選任について
(銚田 沼田 妙佳)
- 銚田市政治倫理審査会委員の選任について
(水戸市元吉田町 菊池 正憲)

報告

- 平成22年度健全化判断比率について
- 平成22年度資金不足比率について
- 平成22年度銚田市一般会計継続費精算報告について
- 平成22年度銚田市公共下水道事業特別会計継続費精算報告について

請願

- △ 教育予算の拡充を求める請願
- 早期の学校耐震化及び教育復興を求める請願

意見書

- 福島原発事故被害者への全面的な補償・賠償を求める意見書の提出について
- 東日本大震災に対する国の早期復旧復興支援を求める意見書の提出について

その他

- 百里基地・茨城空港に関する調査特別委員会の設置について
- 原子力施設の安全に関する調査特別委員会の設置について
- 議員派遣について

主な討論

議案第1号 平成22年度鉾田市一般会計歳入歳出決算認定について

○反対討論（高野 衛）

第1点目は、旭、大洋の各総合支所において、休日の申請窓口等が4月から廃止され、本庁に集約されることになりましたが、住民への事前説明が行われないやり方は認めることができません。

第2点目は、茨城空港利用促進協議会負担金が支出されていますが、茨城空港は軍事基地との供用による危険性が危惧されています。

第3点目は、霞ヶ浦導水事業建設促進協議会負担金が支出されていますが、導水事業は那珂川の魚類や洶沼のシジミに悪影響が報告されており、市は県とともに他市町村との

事業の推進を行っていることは問題です。

第4点目は、文化複合施設建設に向けた基本計画策定の予算が支出されていますが、地震対策として、住宅の補強、修繕工事の助成、また特別養護老人ホームの待機者の解消など住民の命に直結した課題を最優先すべきと考えます。

5点目は、消防機庫、備品の設置、購入について、約半額が住民負担となっていますが、消防機庫、備品への住民負担は、すぐに解消されるよう早急な改善を求めます。
以上の理由から、本案について反対します。

○賛成討論（江沼久男）

平成22年度の決算状況において、歳入面では地域活性化臨時交付金を初めとした国からの助成金や、補正予算債や合併特例債など有利な起債を有効に活用したこと、また歳出面では職員定数の削減や事務事業の見直しなど行政改革に積極的に取り組むなど、健全な財政運営に努めた

この結果であり評価しています。しかしながら、今後財政状況はますます厳しくなるものと想定されますので、引き続き自主財源の確保のため、市税収納率の向上と行財政改革を推進し、「いのちとくらし」の先進都市を実現するための努力を期待し、本案について賛成します。

ここが聞きたい!!一般質問

14人の議員が一般質問

議員名	質問事項
菅谷 達男	(1) 防災計画の見直しについて
高野 衛	(1) 放射能対策について (2) 自然エネルギーの普及について (3) 文化複合施設について (4) 小学校統廃合問題について (5) 常備消防の充実について (6) 市道の整備について
米川 宗司	(1) 道路行政について (2) 文化複合施設について (7) 光通信について (8) 公園の整備について
入江 晃	(1) 放射能対策について (2) 自然エネルギーの普及について (3) 文化複合施設について (4) 小学校統廃合問題について (5) 常備消防の充実について (6) 市道の整備について
井川 茂樹	(1) 被災者支援システムについて (2) デマンドカーの拡大について (3) 放射能対策について (4) 放射線汚染の対策について (5) 心のケアについて (6) 道路整備について (7) 消防対策について (8) 熱中症対策について
堀田 正衛	(1) ほっとパーク鉾田災害復旧工事について (2) 北中学校建替え工事について (3) 防衛省補助事業について (4) 放射線汚染の対策について
飯塚幸右衛門	(1) 放射線測定器について (2) 継続道路問題について (3) 消防対策について (4) 熱中症対策について
水上美智子	(1) 放射線測定器について (2) 継続道路問題について (3) 消防対策について (4) 熱中症対策について
小川 一彦	(1) 放射線測定器について (2) 継続道路問題について (3) 消防対策について (4) 熱中症対策について
出沼 丈夫	(1) 放射線測定器について (2) 継続道路問題について (3) 消防対策について (4) 熱中症対策について
友部 政徳	(1) 放射線測定器について (2) 継続道路問題について (3) 消防対策について (4) 熱中症対策について
石津 武吉	(1) 放射線測定器について (2) 継続道路問題について (3) 消防対策について (4) 熱中症対策について
畠 長弘	(1) 放射線測定器について (2) 継続道路問題について (3) 消防対策について (4) 熱中症対策について
倉川 陽好	(1) 放射線測定器について (2) 継続道路問題について (3) 消防対策について (4) 熱中症対策について

ホームページで一般質問の会議録が見られます

市のホームページで、本会議の会議録を公開しています。
①鉾田市のホームページへアクセスする。(アドレス <http://www.city.hokota.lg.jp>)
②市ガイド内の「鉾田市議会」をクリックする。
③会議録をクリックする。
なお、今定例会の会議録公開は、12月頃の予定です。本会議の会議録(冊子)は、市立図書館で閲覧できます。

平成23年第3回鉾田市議会定例会 討論一覧

議案名	議員名	賛否
議案第1号 平成22年度 鉾田市一般会計歳入歳出決算認定について	高野 衛	賛成
	江沼久男	賛成
議案第2号 平成22年度 鉾田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	石津 武吉	賛成
	倉川 陽好	賛成
議案第4号 平成22年度 鉾田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	高野 衛	賛成
	菅谷 達男	賛成
議案第8、10号 平成22年度 鉾田市旭区域水道事業会計収入支出決算認定について 平成22年度 鉾田市鉾田区域水道事業会計収入支出決算認定について 平成22年度 鉾田市大洋区域水道事業会計収入支出決算認定について	石津 武吉	賛成
	小沼 幸義	賛成
議案第5号 鉾田市東日本大震災による被災住宅等の修繕工事費助成金支給条例の制定について	江沼久男	賛成
	高野 衛	賛成

学校統合



問 学校統合については、昨年に公立学校施設適正配置計画策定委員会の答申が報告されました。その内容は、鉾田地区2校、大洋、旭地区各1校の4校で、全校新設とのことですが、3月の東日本大震災で多くの住民の家屋が被災を受けている状況から、この方針を一時凍結して、まず、現在ある施設を活用して、段階的に進めていくことも必要と考えますが、いかがか。

答 【教育部長】基本的には、答申を重く受けとめ、推進していきたいと考えています。短期間にすべて実施するには財政的な問題、建設場所の選定等、多くの課題が山積していることも否めないことです。また、市の将来を見据え、長期的な展望に立つて多方面から調査・検討し、慎重に進めていかなければならないと考えています。

倉川 陽好 議員

若い人たちが定住しやすい魅力ある教育施設を展開し、よい教育環境を整備し、魅力ある学校づくりを推進するための重要な施策と位置づけ、取り組んでいますので、緊急度の高い地域及び再編環境の整った地域から、順次段階的な再編も視野に入れて推進していきたいと考えています。

各議員の賛否 (賛成反対が分かれた議案のみ掲載)

議案名	菅谷 達男	高野 衛	米川 宗司	入江 晃	井川 茂樹	堀田 正衛	飯塚 幸右衛門	水上 美智子	小川 一彦	出沼 丈夫	友部 政徳	石津 武吉	畠 長弘	倉川 陽好	採決結果
鉾田市一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
鉾田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
鉾田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
鉾田市旭区域水道事業会計収入支出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
鉾田市鉾田区域水道事業会計収入支出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
鉾田市大洋区域水道事業会計収入支出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
鉾田市東日本大震災による被災住宅等の修繕工事費助成金支給条例の制定について	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	否決
福島原発事故被害者への全面的な補償・賠償を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○: 議案に対して賛成 ×: 議案に対して反対 議: 議長

原発事故による放射能対策

畠 長 弘 議員



問 市内の教育施設の放射線検査はどのように進めてきたのか、検査結果によっては校庭などの除染が必要かと思うが、その考えがあるのか伺います。

答 【教育部長】5月からは市内6カ所に設置されている固定局の計測だけではなく、携帯用の計測器を使い、市内の幼稚園・小中学校28カ所及び各総合公園、それから公共施設等の放射線量の測定を6回実施しています。文部科学省及び茨城県で作成した校庭等における放射線

測定の手引では、除染の要否判断の目安として、毎時1マイクロシーベルト以上の場所を目安とするという旨の通知があります。市内各学校施設での平均測定値は、毎時0.213マイクロシーベルトであり、大きく下回っておりまして、現時点で除染作業の必要はないと判断しています。

問 原発に対する市長の考えを伺います。

答 【市長】基本的には、原発は減らす、なくす、という考えです。原発がないほうが安全性は確保できるかもしれませんが、現実には電気が足りない場合、企業が海外へ進出してしまふ。その影響による雇用の問題などをトータルで議論すべきだと思っております。

開票所への市長の入場

石津 武吉 議員



問 6月26日の銚田市議会議員一般選挙の開票において、開票所で市長の姿を見た参観人から伺いました。開票従事者以外には入れないと私は認識しているのですが、市長から選挙管理委員会に対し要望があつて許可されたのか、旧銚田町時代からの慣例を引き継いでいるのか伺います。

答 【総務部長】市長が開票所にいたとの指摘ですが、事実です。本来開票所への入場は、公職選挙法第74条により、開票の参観を許された選挙人、開票管理者、開票

立会人を初めとした事務従事者、開票所監視の職権を有する者、警察官などに限られています。これまでも長時間にわたり選挙管理に従事している委員さん方や従事者に対する激励や慰労の意味合いで、市長または旧町長が慣例的に開票会場を訪れることが何度ありました。この件に関しては、9月2日に開催された銚田市選挙管理委員会の会議の中で、委員、書記全員で適切に開票所の運営を図っていくことで確認したところです。



県道大竹銚田線バイパス

友部 政徳 議員



問 県道銚田大竹線のバイパスについて、現在の進捗状況と今後の見通しについて伺います。

答 【建設部長】昨年、改良工事169メートルを実施し、昨年までに580メートルの

改良工事を完了しています。本年も約180メートルの改良工事を計画し、9月下旬には発注することです。今後も県銚田工務事務所に対して、予算の確保に努めていただき、早期完成できるよう要望を行っていきたいと考えています。

それから、早期完成の要望についても、認識しています。こちらについても、一日も早い完成に向け推進するよう、引き続き県銚田工務事務所に要請していきたいと考えています。



県道大竹銚田線バイパス

銚田市水処理センターの稼働

出沼 丈夫 議員



問 銚田市水処理センターの稼働はいつになるか伺います。

答 【建設部長】供用開始の時期は平成25年度の予定です。公共下水道事業認可区域と農業集落排水事業採択区域の合併浄化槽については、補助の対象外となっております。それ以外の区域の合併浄化槽の設置費と単独浄化槽の撤去費に対して補助をしており、本年度は今定例会において浄化槽の補助対象者をふやすための予算の増額をお願いしているところです。

問 また、高度処理型合併槽を設置する被災家族に対して、補助金の上積みなどをするのかと考えます。

なお、補助金の上積みについては、予定していません。



銚田市水処理センター

農作物の風評被害

小川 一彦 議員



21億899万8,498円と聞
いています。

問 原発事故による農作物の風評被害について伺います。

答 【産業経済部長】 8月末現在で直接被害、風評被害合わせると、市の受け付け分が564件、17億1,825万7,822円、両JAの受け付け分が2,392件、19億3,362万7,564円、合計で2,956件、36億5,188万5,386円となります。そのうちの出荷停止の部分は、金額で15億2,088万6,000円と聞
いています。また、風評被害は、

問 米でセシウムが若干検出されましたが、これからいろいろな農作物が出荷されると思います。まず、セシウムの簡易測定器を早急に購入して、自主検査をすることも、第三者機関にも検査を依頼し、その情報を開示することで、市場の信頼を得ていくべきと考えますが、いかがか。

答 【産業経済部長】 今までも野菜やメロンなどについても検査を既に19品目で34検体、毎月のようにやっ
て、記者会見を行ったり、市場に出向いています。安全宣言みたいな数字を出すことが非常に大事なので、その辺も含めて協議していきたいと思
います。

給食食材の放射線測定

水上 美智子 議員



問 給食食材の放射線測定を実施できないか、伺います。

答 【教育部長】 現在給食用食材として使用している物資は、市場等への流通過程の中で安全性についてはすべてクリアした食材であると確信しています。このような食材を使用していますので、独自に放射線測定をしてから給食食材として使用するということは考えていません。

とはまた違って、本当に危険性が高いといわれています。給食食材については、保護者から不安の声があります。保護者に対してもう安全ですという、PRや働きかけはしたのか、伺います。

問 食べ物とか水は内部被曝とどういって、外部被曝

答 【教育部長】 放射線関係はゼロというのは今のところあり得ないと思
0.1でも、0.001出ても安全とは言えない部分だと思
います。給食に入れている食材については、悪いものや異常があるものについては出荷停止とかの制限がされていると考えています。そういう意味では、市場に入っている食材については問題ないと理解
しています。

放射線測定器

飯塚 幸右衛門 議員



問 鉾田市では、茨城県より測定器1台をいただき、市民の不安を解消するため3台の測定器を7月の臨時会で議決して買いました。現在、これらの測定器はこの課で管理し、運用されているのか伺います。

答 【総務部長】 現在5台を総務課防災交通係で管理しています。測定については、教育委員会や子ども家庭課など、市の職員が行ったり、各幼稚園や保育園へ貸し出し
て測定をしております。

問 機器の使用に当たって事前の使用方法や説明あるいは機器の校正、日常的なメンテナンスはどのように行っているのか伺います。

答 【総務部長】 防災交通係には県の原子力協議会から専門の職員も1名配置になっていて、1年中の放射線の状況とか、そういうものについて監視などを行っていただいています。技術者でするので、その方の指導を受けて管理を行っています。



簡易式放射線測定器

鉾田北中学校

堀田 正衛 議員



問 鉾田市では小学校を4校に統合するというような話を聞いておりますが、鉾田北中学校の建てかえ工事はいつごろから始まるのか。

答 【教育部長】 鉾田北中学校の改築工事については、現在基本構想、基本設計に着手しており、平成24年には実施設計、そして平成25年、26年にかけて改築工事を進め、平成27年早々に竣工したいと考えています。

問 地域住民は小中一貫教育ができる体制を望んでいますが、その可能性については、いかがか。

答 【教育部長】 現状では敷地が足りない状況です。基本的な方針を市から示して、地域の方からご意見を募っていき
たいと思
います。



鉾田北中学校

市街地の復旧・復興

井川 茂樹 議員



問 今回の大地震による町内の液化化の被害は、商店街の空洞化を決定的に進めてしまいました。これに対するどのように考え、取り組んでいくのか伺います。

答 【総務部長】現在、総合計画後期基本計画の策定作業を進めており、その中で、東日本大震災によって取り組むべき事業等について、関係各課の状況をまとめていきたいと考えています。市街地部分についても、総合計画基本構想に定めた土地利用基本方針の実現を図っていき

いと考えています。

問 一般の市民の方や、今住んでいる店主、また専門家も交えて市をどのように復旧、復興させるかというのを早急に立ち上げて、見直しをつけていくのも市の大事な仕事ではないかと思うが、いかがか。

答 【総務部長】現在は復旧について全力を挙げて道路とかインフラ整備について工事などを行っているところで、総合計画の基本計画を見直しの作業の中で、まちづくりについてもきちんとうたい込んでいきたいと思えます。



復旧が進む新町

合併特例債の延期

入江 晃 議員



問 東日本大震災により、合併特例債の期限が延期されたと聞いています。内容について詳細を伺います。また、事業の見直しや優先順位はあるのか伺います。

答 【総務部長】鉾田市の場合は平成18年度から平成27年度事業完了分までが対象となっていました。最長で平成32年度までの5年間の延長が可能となったものです。これは、国の被災地に対する特別措置で、災害復旧の事業を進めることで従前の合併特

例債事業が実施困難な状況をかんがみ、期間延長の特例を認めたものですが、鉾田市では、実際このような状況とは異なると思っていますので、現在のところ特例債の延長は考えていません。

また、新たな事業の見直し及び優先順位の変更は考えていません。

問 若干延期しながら、いい方法をとっていったほうが、市民のご理解をいただけるのではないかと思います。市長のお考えは、いかがか。

答 【市長】今与えられた年数でいき、それがクリアできないことが見えた段階で皆さんにもご相談したいと考えています。

道路行政

米川 宗司 議員



問 涇沼、鹿島灘海岸道路整備事業、市道旭2026号線、県道下太田鉾田線の進捗状況について伺います。

答 【建設部長】まず、涇沼、鹿島灘海岸道路整備事業については、平成22年度に基本設計が完了しています。今年度は、玉田、荒地間の路線測量と関係地権者説明会を開催する予定です。なお、平成24年度以降については、詳細設計及び用地測量を実施し、その後条件が整えば平成25年度あたりから用地買収等を進

めたいと考えています。

次に、市道旭2026号線の拡幅については、昨年度に国へ事業申請を行うための事業計画概要書を作成して、本年度は農産漁村活性化プロジェクト支援交付金事業認可申請を行う予定です。平成24年度に新規採択されれば、事業開始に向けた予算措置をしたいと考えています。

続いて、県道下太田鉾田線の整備について鉾田工事事務所へ確認したところ、東野、常盤地区境の拡幅完了地点から、延長700メートルの区間について今年7月に境界立ち会いを行い、今年度は補償調査を実施する予定です。平成24年度から用地買収を実施する予定ですが、用地買収が完了後工事着手する予定です。

放射能対策

高野 衛 議員



問 福島県では子供たちの甲状腺から放射性ヨウ素が見つかっています。鉾田市の子供たちの健康診断実施をいつか伺います。

それから、市民の不安を解消するため、市内をきめ細かく放射線量の測定を行い、汚染の実態を明らかにしてはいか

答 【健康福祉部長】本市内の放射線量レベルは、毎時1マイクロシーベルトを十分に下回っていますので、健康に影響のあるレベルでは

ないと考えています。健康調査を必要とするレベルや方法などの判断については、県、市で独自に決められるものではなく、福島県以外の地域においても国が統一したものを示すべきものであると考えていますので、今後のモニタリングの状況や国、県の動向、原発事故の今後の推移などを見ながら対応したいと考えています。

【総務部長】きめ細かく測定し、公表してはということですが、現在小中学校が24、幼稚園が4、保育園が8、公園・運動施設6カ所などを測定し、公表をしています。さらには、県立高校、海浜公園なども公表しています。

委員会活動報告

防災計画の見直し

菅谷 達男 議員



問 戦後最大の国難とも呼ばれる東日本大震災において、連携、協体制のネットワークの重要性を教えられました。そこで、災害発生時、その拠点となる災害対策本部の電気の確保、情報伝達手段の確保について伺います。

答 【総務部長】 災害対策本部の電気の確保については、今回の震災では本庁舎、福祉事務所等には自家発電装置はなく、震災時には建設業協会や建設業者等から発電機を借用し、災害対策本部を運営していました。今後は、太

陽光を含めた自家発電装置の整備や、レンタル会社との災害時の協定などにより、電源の確保を検討していきたいと考えています。

次に、市民への情報の伝達手段として、震災前は防災無線を主として考えていましたが、中継局や子局は停電した際、最長でも24時間しか作動できず、音声が届かなくなることが全くわからないケースもありました。今回の震災を機に、中継局等に自家発電装置を整備し、市民に対し個別受信機の整備も検討している段階です。また、だれでも手軽に情報を得ることができるとがF Mラジオ放送の研究も必要と考えています。



銚田市地域防災計画

議会報告会を開催します！

より身近で開かれた議会を目指し、市民に対する議会報告会を開催します。皆様の議会に対してのご意見等を直接お聞かせください。是非お越し下さい。

日時：11月18日(金) 午後6時30分から

場所：銚田市役所 2階 大会議室



昨年度の議会報告会

特別委員会が新たに設置されました

百里基地・茨城空港に関する調査特別委員会 (11人)

○設置目的…航空機の離着陸による騒音被害の防止・軽減や空港を活用した地域活性化により住民福祉の向上を図る。

委員長	副委員長	委員		
堀田 正衛	小川 一彦	根寄 真	小沼 幸義	出沼 丈夫
		小沼 俊秀	飯塚 幸右衛門	岩間 勝栄
		山口 徳	高野 衛	倉川 陽好

原子力施設の安全に関する調査特別委員会 (11人)

○設置目的…原子力施設の具体的な安全対策や原子力事業者が行う施策を調査・研究し、市がおこなう原子力防災行政に対し提言することで住民の健康と安全確保を図る。

委員長	副委員長	委員		
畠 長弘	水上 美智子	入江 晃	江沼 久男	井川 茂樹
		米川 宗司	菅谷 達男	友部 政徳
		栗田 洋	田口 清一	石津 武吉



銚小前の市道復旧確認

○経済建設常任委員会所管事務調査

閉会中の9月6日に委員会を開催し、本市産米からの放射性セシウム検出に関する件について、所管事務調査を行いました。

また、9月15日には、市道復旧工事及び産業経済課所管施設の現地調査を実施しました。



旭スポーツセンター体育館

○厚生文教常任委員会所管事務調査

9月16日に所管事務調査を実施し、教育施設及び民生施設災害復旧事業について、現地調査を実施しました。

主な議会の動静

8月

30日 議会広報編集委員会
4日 銚田市災害復旧復興対策特別委員会
1日 県東市議会議長会臨時会

9月

2日 議会運営委員会
5日 銚田市災害復旧復興対策特別委員会
5日 正副議長・正副委員長会談
6日 経済建設常任委員会
9日 平成23年第3回定例会
9日 全員協議会
13日 議会広報編集委員会
14日 総務企画常任委員会
15日 経済建設常任委員会
16日 厚生文教常任委員会
20日 議会運営委員会
22日 銚田市災害復旧復興対策特別委員会
22日 総務企画常任委員会
22日 議会運営委員会

10月

3日 銚田市災害復旧復興対策特別委員会
12日 県東市議会議長会定例会
18日 議会広報編集委員会
20日 県東市議会議長会視察研修
25日 議会広報編集委員会
26日 銚田市災害復旧復興対策特別委員会
27日 視察研修
27日 県市議会議長会理事會及び定例会

傍聴者の声



田塚区長
額賀元康

去る六月、任期満了に伴う議会議員選挙が行われ、二十二名の新しい議員の皆さんが誕生しました。誠にめでとうございます。今回は、改選後初めての一般質問となり、登壇後の再質問は、議場最前列中央で行われることになりました。質問は、やはり震災及び原発事故に関連する内容が多く、六か月を過ぎた現在でも課題は山積しています。かなり復旧は進んでいるものの、今後とも行政と議会が一体となり議論を深め、安全で安心して生活できる住みよい環境づくりを進めて欲しいものです。

12月定例会日程(予定)のお知らせ

月 日	会議内容
11月29日(火)	本会議開会
12月1日(木)	一般質問
12月2日(金)	一般質問
12月5日(月)	委員会
12月6日(火)	委員会
12月7日(水)	委員会
12月9日(金)	本会議閉会

※日程は変更になる場合があります。

平成23年第3回(9月)定例会の延傍聴者数62名

掲載写真募集!!

あなたの写真を
議会だよりに掲載しませんか?
詳しくは、議会事務局に
お問い合わせ下さい。

編集後記

東日本震災から6か月半、度重なる余震の不安と、暗く悲しいニュースに日本中が不安と悲しみに包まれています。しかし私たちは、この困難な状況を克服し一日も早い地域の復興を目指さなければならなりません。安心して住める住居の確保、活力ある農業の再生と放射能被害の補償、お年寄りが安心して生活できる医療と福祉の充実など課題は山積しています。9月5日からの平成23年第3回定例会では、14名の議員が市政をただしました。

明るい元氣な銚田市を作るため議会一丸となり、より一層努力をまいります。

なお、議会広報編集委員会では、より一層議員一人一人の意見を市民の皆様にお知らせするため、議案に対する賛否を揭示することにしました。

(根寄真記)

委員長 友部 政徳
副委員長 根寄 眞
委員 水上 美智子 井川 茂樹
米川 宗司 高野 衛